

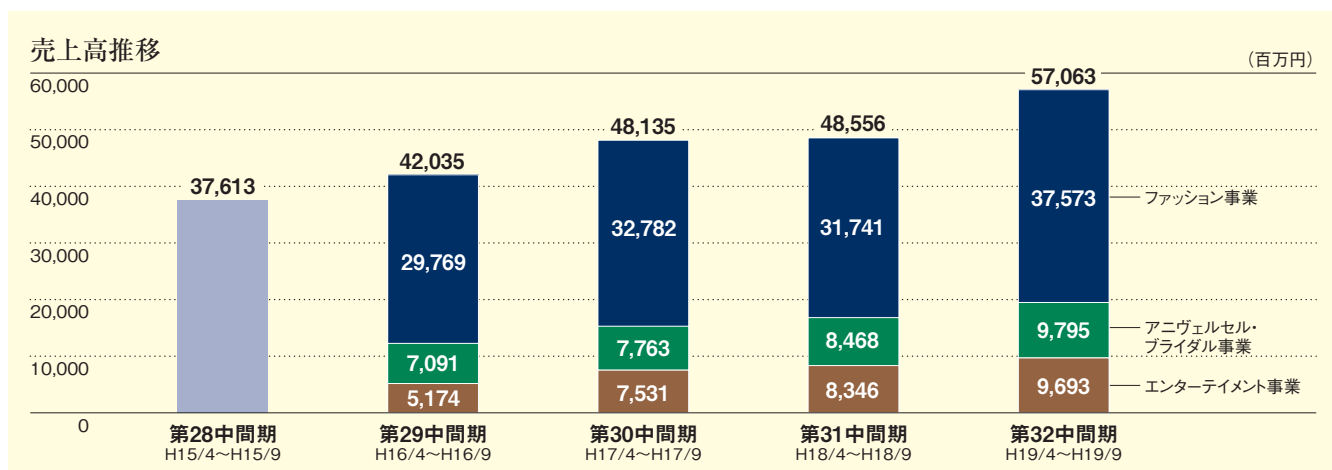


AOKI Report

第32中間期(平成19年4月1日~平成19年9月30日)



時代のニーズを捉えた多彩な事業を基盤に、
グループ経営で質の高い安定成長へ。



(注1) 第30中間期及び第32中間期の合計には、その他事業の売上高が含まれております。
(注2) 第29中間期よりセグメント別に表示しております。

ファッション事業

AOKI



ファッションの ベストスタイリングストア

ビジネススーツに加え、生活のあらゆるシーンでのスタイリングや、レディスウェアの提案を通じて、より多くのお客様に向けて、そのお客様に合ったベストスタイリングを提供しています。

DRIFICA



自分のスタイルを楽しむ世代の ライフスタイルショップ

「ファッションを楽しみたい」という20代から30代のニューファミリーのお客様のライフスタイルに合った、新しいビジネス&ビジカジスタイルを提案しています。

MX



ファミリー向け カジュアル専門店チェーン

30代を中心としたファミリーをターゲットに、普段着をコーディネートファッションで提供し、より豊かで楽しいカジュアルライフを創造します。

アニヴェルセル・ブライダル事業

ANNIVERSAIRE
OHIO ISLANDO

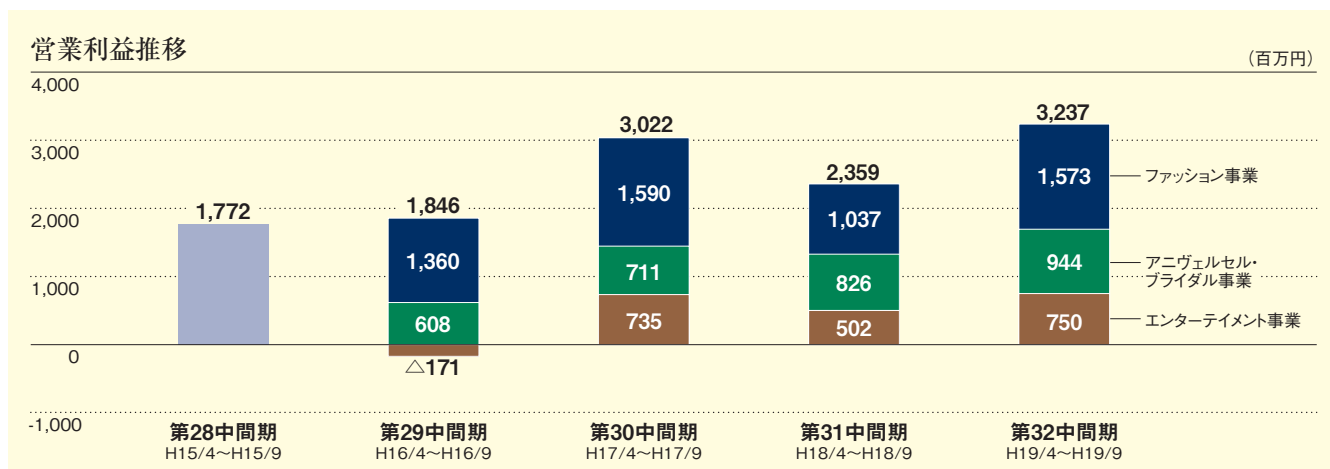


“記念日”をテーマとする館

トレンドの発信地、表参道にふさわしい上質な空間で、大切な日をより上質に、自分らしく演出いただくためのトータルな商品・サービスを提供しています。

1958年の創業以来、「社会性の追求」「公益性の追求」「公共性の追求」を経営理念に掲げ、つねにお客様のご要望や社会のニーズを見据えた事業を展開してきました。

人々の価値観が多様化した現在、より多くのシーンでお客様のご要望にお応えできるよう、「ファッション」「アニヴェルセル・ブライダル」「エンターテインメント」の3つの事業を中心に、AOKIグループとして質の高い安定成長を図ってまいります。



(注1) 第29中間期及び第31中間期の合計には、連結上の消去、第30中間期及び第32中間期の合計にはその他事業及び連結上の消去が含まれております。
 (注2) 第29中間期よりセグメント別に表示しております。

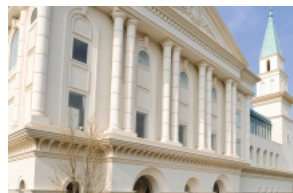
WEDDING
VILLAGE



チャペルとガーデンを備えた 郊外型ゲストハウス

花や緑が溢れる広大な敷地にある「ウエディングビレッジ」は、ルネッサンス様式の独立型チャペルとヨーロッパの建築様式を取り入れた、プライベートガーデン付きのゲストハウスです。

PARTIRE
GUESTHOUSE



地中海リゾートをイメージした 都心型ゲストハウス

世界のセレブリティが集うモナコをイメージした、ウエディングステージ「パルティール迎賓館」は、チャペルとパーティスペース、そして全天候型のアトリウムを設えた都心型の迎賓館です。

エンターテインメント事業



上質な空間と食を提供する カラオケ・パーティスペース

南仏のリゾート地をテーマにした上質な空間で、最新のカラオケと本格的な食事を楽しんでいただく「パーティリゾート」をコンセプトに、お客様に明日への活力を提供します。



快適な空間で極上のリラックス を提供する複合カフェ

“癒し”をテーマとした快適な空間で、インターネット、ゲーム、コミック・雑誌や、マッサージチェアなど、多彩なサービスをご利用いただける“リラクゼーションカフェ”です。

事業の深耕と進化により、増収大幅増益を達成しました。



代表取締役社長
青木 拡憲

取締役副社長
青木 寶久

ファッション事業での取り組み

AOKIでは、「仕事・旅行・礼装であてにされる店になり、かつ新たなスタイリングを通じて豊かなファッション文化向上に貢献する」をコンセプトに、顧客満足度地域一番店を目指して、ベストスタイリングストアへの更なる進化に努めてまいりました。

商品面におきましては、ターゲットを明確にした商品ラインアップの拡充とブランド訴求により、特にスーツが各年代層において好調に推移いたしました。具体的には、団塊ジュニアのお客様には、「MAJI」を中心とした「もてスリムCool」を拡充、40代から50代には「極上クール」という涼しさ、軽さという機能性の高い商品を訴求。また団塊世代のお客様には、「JEAN RENO」を中心とした高品質・高付加価値商品を展開し、いずれも好評いただきました。

営業面では、AOKI独自のスタイリスト制度が定着し、お客様のご要望する商品をスタイリングでご提案し、ご満足いただけたことにより、既存店客単価の増加につながりました。また、昨年7月より立ち上げた業務改善プロジェクトの取り組みにより、労働環境や作業効率の改善を図ることが

できました。

ORIHICA(オリヒカ)は、商品企画・開発体制の更なる強化とプロトタイプの磨き上げを図ることで、ニューファミリーのライフスタイルにあった新しいビジネス&ビカジスタイルを提案し、主要顧客層である20代から30代のお客様への浸透を図ってまいりました。

新たに連結子会社となったマルフルが展開するM/X(エムエックス)は、30代を中心としたファミリーをターゲットに、普段着をコーディネートで提供し、より豊かで楽しいカジュアルライフを創造することをコンセプトとし、プロジェクトによる課題解決に注力するとともに、業態確立に向けプロトタイプの見直しを行いました。

店舗面におきまして、AOKIで15店舗を新規出店する一方、移転を含め2店舗を閉鎖し、ORIHICAは、ショッピングセンター内へ3店舗を新規出店し、4店舗を閉鎖いたしました。またM/Xは、2店舗を新規出店する一方、3店舗を閉鎖いたしました。この結果、中間期末店舗数は、それぞれ370店舗(前期末357店舗)、34店舗(前期末35店舗)及び40店舗(8月20日現在)となっております。

これらのとおり既存店売上高も順調に推移した結果、売上高は375億73百万円(前年同期比18.4%増)、営業利益は15億73百万円(前年同期比51.6%増)と増収大幅増益になりました。

アニヴェルセル・ブライダル事業での取り組み

アニヴェルセル表参道は、記念日のトータルプロデュースという独創的なビジネスモデルで、上質な商品とサービスを展開してまいりました。ショコラ、ケーキ、シャンパン、フラワー、ジュエリーなど記念日を彩るギフトコレクションや、カフェ、レストランなどのサービスを通じ、お客様の記念日を思い出深く彩るお手伝いをさせていただいております。また本年8月には、3階ゲストハウスの施設において250名着席可能という収容人数を誇るウェディングパーティスペースを新設いたしました。

連結子会社の株式会社ラヴィスは、すべてのお客様の心に残る感動をご提供するため、接客力の向上と提案力の強化を目的として、人材の育成に注力するとともに、衛生管理体制の強化と多店舗化に対応した

経営効率化の追求を図ってまいりました。施設面では、本年9月に関西エリア3店舗目の「バルティール江坂ウエディングビレッジ」をオープンし、中間期末店舗数は11店舗（前期末10店舗）となりました。また11月には、東海地区初となる「バルティール名古屋白壁迎賓館」がオープンいたしました。

これらの結果、売上高は97億95百万円（前年同期比15.7%増）、営業利益は9億44百万円（前年同期比14.2%増）となりました。

エンターテインメント事業での取り組み

株式会社ヴァリックは、「安心・安全・健全」を基本方針として、店舗運営や美化維持、接客力及び既存サービスの向上に注力するとともに、カラオケルーム運営事業と複合カフェ運営事業とのシナジー効果を最大限に発揮し、業態の進化と経営基盤の強化を図ってまいりました。

カラオケルーム運営事業は、サービスの差別化によりコアターゲットである30代以上の社会人、ファミリー、シニアの各客層の利用と昼間の利用率が増加したことにより、既存店が好調に推移いたしました。また、来年度コート・ダジュールの10周年を迎えるにあたり、「パワーアップ コート・ダジュール」と題して、今後様々な企画を展開してまいります。

複合カフェ運営事業では、業態の認知度が向上し、同時に競合各社の出店が引き続き拡大傾向にある市場のなかで、安定成長に向けた質の高い積極出店とそれを支える基盤整備を図ってまいりました。また、お客様に更に快適に便利にご利用いただくために設備やコンテンツなど既存サービスの向上と引き続きフード面の充実を図ることにより、既存店が好調に推移いたしました。

店舗面に関しましては、カラオケルーム運営事業で5店舗、複合カフェ運営事業で11店舗をそれぞれ新規出店する一方、スパ1店舗を複合カフェ業態に統合いたしました。この結果、中間期末店舗数はそれぞれ97店舗（前期末92店舗）及び、99店舗（前期末89店舗）となっております。

これらの結果、売上高は96億93百万円（前年同期比16.1%増）、営業利益は7億50百万円（前年同期比49.4%増）と増収大幅増益になりました。

AOKIグループ経営体制の変更に関するお知らせ （株式会社AOKIホールディングス純粋持株会社体制への移行）

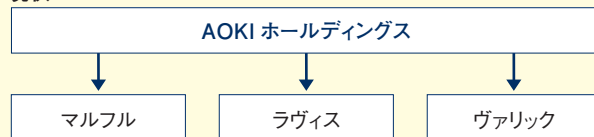
このたび当社は、平成19年11月15日開催の取締役会におきまして、平成20年4月1日を効力発生日として、「AOKIカンパニー事業」と「ORIHICAカンパニー事業」を新たに設立する会社（商号は株式会社AOKI及び株式会社オリヒカ）に承継し、純粋持株会社体制に移行することを決議いたしました。

なお、この会社分割につきましては、平成20年2月7日開催予定の臨時株主総会の承認を条件に行われる予定です。

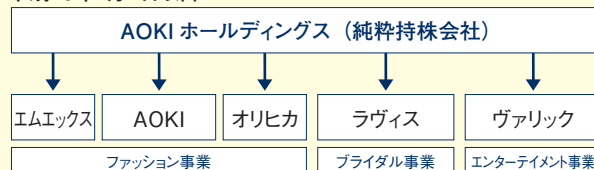
また、純粋持株会社体制導入にあわせ、当社を完全親会社、株式会社ヴァリック及び株式会社ラヴィスを完全子会社とする株式交換を実施することを決議いたしました。

今回の経営体制の変更により、純粋持株会社である当社はグループ全体の経営、管理、社会的責任の遂行を担い、各グループ事業子会社は、事業執行に集中することで、業務の更なるスピードアップ、経営効率の向上、専門性の追求を図ってまいります。

現状



平成20年4月1日以降



株式会社マルフルは平成20年3月1日付けで株式会社EMエクスに社名が変わります。

ファッション事業のさらなる深耕と成長市場の開拓を推進しています。

ファッション事業の「AOKI」では、魅力ある商品の拡充や店舗改装を継続するなど、ベストスタイリングストアへの進化・発展を目指した取組みを実施しています。

また、そのほかの業態では成長する市場ニーズを的確にとらえ、戦略的な出店を推進するとともに、収益基盤の確立を目指しています。

魅力ある商品と店舗を次々と

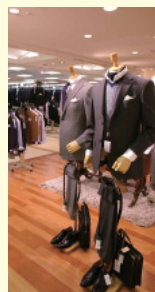
AOKI' 引き続き魅力ある商品を販売していきます。

AOKIでは、春・夏キャンペーンとして「もてスリムCool」、機能性スーツの「極上クール」、また、産学共同研究開発商品として「デオドラントシリーズ」「ロイヤルコンフォートスーツ」を販売しました。なかでも「もてスリムCool」は、「細身でカッコよく、涼しいスーツ」としてご好評をいただきました。今秋からは、新素材・新色を取り入れた「もてスリム」、新キャンペーンとして「極上スマート」「極上礼服」を販売します。



今秋130店舗が
リニューアルオープンします。

AOKIでは、2005年10月の新CI(新ロゴ)導入に伴い、2006年夏から既存店の改装を進めてきました。今秋リニューアルオープンする130店舗と今冬改装予定の28店舗で、全既存店の改装を終了します。



ORIHICA 人気のショッピングセンターへの出店を継続します。

ライフスタイルショップ「ORIHICA」では、2007年4月の3店舗、さらに10月オープンの浅草ROX店(東京都台東区)を皮切りに、お台場デックス東京ビーチ店(東京都港区)、11月には千葉県に1店舗を新規オープンし、ショッピングセンターへの出店を継続します。



成長市場で独自の存在感を

VALIC カラオケ、複合カフェ、
それぞれ100店舗体制へ、
さらに複合店舗を出店します。

堅実出店を継続するカラオケルーム運営事業、成長市場の中で出店を拡大する複合カフェ運営事業は、それぞれ100店舗体制に向け、業態の進化と経営基盤の強化を図っています。さらに、カラオケと複合カフェの複合店舗を京都に出店しました。複合店舗は、単独出店に比べて初期費用や人件費の削減が可能となり、収益力が高まります。今後は、年間5店舗のペースで複合店舗を出店します。



RAVIS 業界最大級のパーティスペース
「ザ グランド」がオープンしました。

ブライダル事業を展開するラヴィスでは、2007年8月「アニヴェルセル表参道」3階に、ウエディングパーティスペース「ザ グランド」をオープンしました。最大250名が着席できる「ザ グランド」は、業界においても最大級の収容人数を誇る施設となります。表参道という好立地を活かし「アニヴェルセル表参道」全体の集客を高めていくことが可能です。また、9月には大阪府吹田市に「バルティエレ江坂ウエディングビレッジ」をオープンしました。当社にとっては11店舗目のゲストハウス施設であり、関西エリアでは3店舗目となります。



中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当中間期 平成19年9月30日	前中間期 平成18年9月30日
資産の部		
流動資産	33,120	33,377
固定資産	109,361	102,668
有形固定資産	72,643	67,012
無形固定資産	4,004	4,050
投資その他の資産	32,714	31,605
資産合計	142,482	136,046
負債の部		
流動負債	27,196	24,738
固定負債	22,190	22,993
負債合計	49,387	47,732
純資産の部		
株主資本	89,802	85,296
資本金	23,282	23,282
資本剰余金	22,766	22,595
利益剰余金	47,949	43,698
自己株式	△4,195	△4,280
評価・換算差額等	905	1,299
新株予約権	275	43
少数株主持分	2,112	1,674
純資産合計	93,095	88,314
負債純資産合計	142,482	136,046

(注)百万円未満は切り捨て。

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	当中間期 自平成19年4月1日 至平成19年9月30日	前中間期 自平成18年4月1日 至平成18年9月30日
売上高	57,063	48,556
売上原価	31,282	26,943
販売費及び一般管理費	22,543	19,253
営業利益	3,237	2,359
営業外収益	1,116	1,399
営業外費用	806	908
経常利益	3,547	2,850
特別利益	4	4
特別損失	491	464
税金等調整前中間純利益	3,061	2,390
法人税、住民税及び事業税	948	729
法人税等調整額	417	361
少数株主利益	224	156
中間純利益	1,470	1,142

(注)百万円未満は切り捨て。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当中間期 自平成19年4月1日 至平成19年9月30日	前中間期 自平成18年4月1日 至平成18年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,640	△2,693
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,541	△5,731
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,744	△2,357
現金及び現金同等物の減少額	△7,645	△10,782
現金及び現金同等物の期首残高	18,862	24,113
現金及び現金同等物の中間期末残高	11,217	13,331

(注)百万円未満は切り捨て。

中間連結株主資本等変動計算書 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				株主資本合計	評価・換算差額等		新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計			
平成19年3月31日残高	23,282	22,586	47,149	△4,490	88,528	1,075	1,075	149	1,919	91,673
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△671		△671					△671
中間純利益			1,470		1,470					1,470
その他		180		294	475	△170	△170	125	192	622
中間連結会計期間中の変動額合計	—	180	799	294	1,274	△170	△170	125	192	1,421
平成19年9月30日残高	23,282	22,766	47,949	△4,195	89,802	905	905	275	2,112	93,095

(注)百万円未満は切り捨て。

中間貸借対照表 (単位:百万円)

	当中間期 平成19年9月30日	前中間期 平成18年9月30日
資産の部		
流動資産	25,912	28,225
固定資産	86,353	83,270
有形固定資産	50,710	49,048
無形固定資産	3,940	4,151
投資その他の資産	31,702	30,071
資産合計	112,266	111,496
負債の部		
流動負債	14,487	14,129
固定負債	6,598	9,081
負債合計	21,086	23,211
純資産の部		
株主資本	90,101	86,962
資本金	23,282	23,282
資本剰余金	26,280	26,100
利益剰余金	44,867	41,993
自己株式	△4,329	△4,413
評価・換算差額等	919	1,299
新株予約権	158	22
純資産合計	91,179	88,285
負債純資産合計	112,266	111,496

(注)百万円未満は切り捨て。

中間損益計算書 (単位:百万円)

	当中間期 自平成19年4月1日 至平成19年9月30日	前中間期 自平成18年4月1日 至平成18年9月30日
売上高	34,793	32,386
売上原価	14,423	14,180
販売費及び一般管理費	18,814	17,359
営業利益	1,555	845
営業外収益	1,274	1,569
営業外費用	985	1,166
経常利益	1,843	1,248
特別利益	4	1
特別損失	149	216
税引前中間純利益	1,698	1,033
法人税、住民税及び事業税	153	100
法人税等調整額	630	1,023
中間純利益又は中間純損失(△)	914	△90

(注)百万円未満は切り捨て。

中間株主資本等変動計算書 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日) (単位:百万円)

	株主資本										評価・換算差額等			新株 予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金				自己 株式	株主 資本 合計	其他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等 合計		
		資本 準備金	其他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計		固定資産 圧縮積立金	其他 利益剰余金	別途 繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計						
平成19年3月31日残高	23,282	26,100	—	26,100	2,234	77	36,908	5,405	44,624	△4,623	89,383	1,076	1,076	81	90,541
中間会計期間中の変動額															
剰余金の配当								△671	△671		△671				△671
中間純利益								914	914		914				914
その他			180	180						294	475	△157	△157	77	395
中間会計期間中の変動額合計	—	—	180	180	—	—	—	242	242	294	718	△157	△157	77	638
平成19年9月30日残高	23,282	26,100	180	26,280	2,234	77	36,908	5,647	44,867	△4,329	90,101	919	919	158	91,179

(注)百万円未満は切り捨て。

株式の状況 (平成19年9月30日現在)

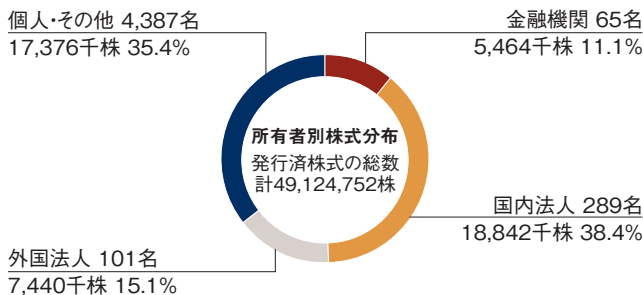
株式の状況

発行可能株式総数	133,679,900株
発行済株式の総数	49,124,752株
株主数	4,842名

大株主名及び持株数

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
株式会社アニヴェルセルHOLDINGS	17,685	36.0
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー-505025	2,556	5.2
青木 拓憲	2,129	4.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,776	3.6
青木 寛久	1,669	3.4
青木 柁允	1,605	3.3
青木 彰宏	1,604	3.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,603	3.3
AOKIホールディングス取引先持株会	735	1.5
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー-505019	568	1.2

(注)当社は、自己株式を4,060千株保有しておりますが、上記大株主から除いております。



会社概要 (平成19年9月30日現在)

商号	株式会社AOKIホールディングス(AOKI Holdings Inc.)
事業内容	紳士服及び服飾品並びにファッション商品の企画販売 記念日を軸とした商品の販売並びにサービスの提供
会社設立	昭和51年8月21日
資本金	23,282百万円
従業員数	3,848名(男性1,291名、女性410名、パート2,147名)

役員 (平成19年11月30日現在)

代表取締役社長	青木 拓憲	
取締役副社長	青木 寛久	
専務取締役	長谷川 八郎	グループ事業統括 店舗開発担当
専務取締役	中村 憲侍	グループ事業統括 管理担当
専務取締役	中林 佑丞	グループ事業統括 経営企画戦略担当
専務取締役	清水 彰	AOKIカンパニー プレジデント
常務取締役	吉田 文男	AOKIカンパニー バイスプレジデント 兼 店舗環境企画部長
常務取締役	塚田 悟	グループ事業統括 人事・監査担当
取締役	野口 達巳	グループ商品担当
取締役	田村 春生	グループ財務担当
常勤監査役	稲垣 稔	
監査役	渡邊 一正	
監査役	金子 三千男	
常務執行役員	牧 倫 匡	グループ事業開発担当
執行役員	青木 彰宏	ORIHICAカンパニー プレジデント
執行役員	柳 智 棊	経理部長
執行役員	刑部 秀成	総務部長
執行役員	勝家 巧	情報システム部長
執行役員	齊藤 秀次郎	グループ物流担当
執行役員	投元 谿 太	経営戦略企画室長
執行役員	荒木 涉	AOKIカンパニー 計画管理室長
執行役員	平井 雅 丈	アニヴェルセルカンパニー プレジデント
執行役員	町田 豊 隆	AOKIカンパニー 横浜港北総本店総店長

主要な事業所

本 社	〒107-0061 東京都港区北青山三丁目5番30号 TEL:03-3478-2888(大代表)
横 浜 本 社	〒224-8588 神奈川県横浜市都筑区葛が谷6番56号 TEL:045-941-1888(大代表)
AOKIカンパニー	〒224-8588 神奈川県横浜市都筑区葛が谷6番56号 TEL:045-941-3488(代表)
ORIHICAカンパニー	〒224-8588 神奈川県横浜市都筑区葛が谷6番56号 TEL:045-945-5188(代表)
アニヴェルセルカンパニー	〒107-0061 東京都港区北青山三丁目5番30号 TEL:03-3478-5488(代表)

連結子会社

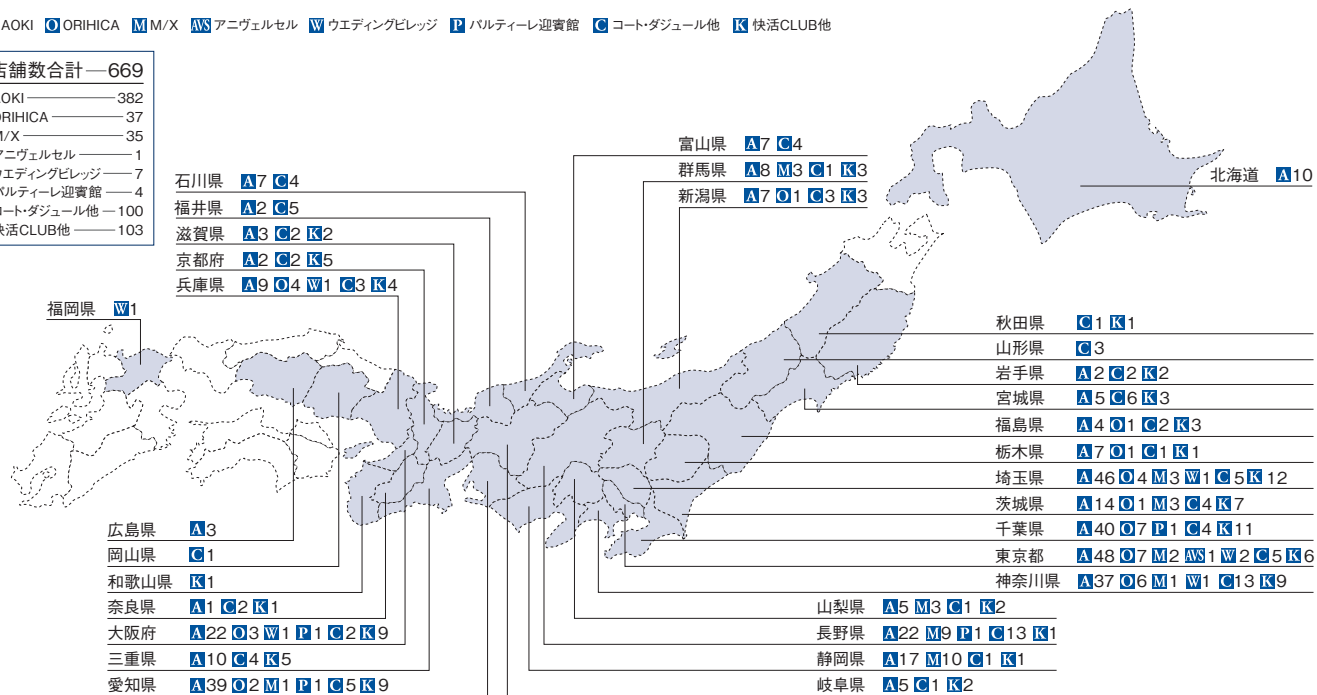
株式会社ヴァリック	〒224-0021 神奈川県横浜市都筑区北山田三丁目1番50号 TEL:045-590-4888(代表)
株式会社ラヴィス	〒135-0063 東京都江東区有明三丁目1番9号 TEL:03-3570-1120(代表)
株式会社マルフル	〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津4932番地 TEL:0555-72-1980(代表)

都道府県別店舗数 (平成19年11月30日現在)

A AOKI O ORIHICA M M/X WS アニヴェルセル W ウエディングビレッジ P パルティール迎賓館 C コート・ダジュール他 K 快活CLUB他

店舗数合計—669

AOKI	382
ORIHICA	37
M/X	35
アニヴェルセル	1
ウエディングビレッジ	7
パルティール迎賓館	4
コート・ダジュール他	100
快活CLUB他	103



株主メモ

- 事業年度** 4月1日～翌年3月31日
- 配当金受領株主確定日** 期末配当金は3月31日、中間配当金は9月30日、そのほか、基準日を定めて剰余金を配当することができます。
- 定時株主総会** 毎年6月に開催いたします。
- 株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所** 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 同連絡先
(お問合せ先)
(郵便物送付先)** 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL:0120-232-711 (フリーダイヤル)
- 同取次所** 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
野村證券株式会社 全国本支店
- 上場証券取引所** 東京・大阪
- 公告方法** 電子公告により行います。
<http://www.aoki-hd.co.jp/index.html>
やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

お知らせ

住所変更、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-244-479で24時間受付しております。

株式会社AOKIホールディングス

お問合せ先: 横浜本社総務部 TEL: 045-941-1888
<http://www.aoki-hd.co.jp/>



VOC (揮発性有機化合物) 成分ゼロの100%植物油のインクおよびFSC認証用紙を使用し、印刷工程で有害廃液を出さない「水なし印刷方式」を採用しています。